

## 消防技術を競う!!



第51回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が7月5日、米子市の鳥取県消防学校で開かれ、西部地区9つの分団が出場するポンプ車操法の部に、大山町消防団から中山第3分団、名和第3分団、大山第3分団が出場しました。

消防ポンプ操法は、消火活動の基本となる操作を迅速かつ正確に行い、タイムや規律、節度ある動作などを競い技術の向上や士気の高揚を図るものです。

この大会に照準を合わせ、早くから分団員とともに訓練を積んできた選手たちは、その成果を十分に発揮し、きびきびとした立派な操法を披露しました。大山町消防団の成績は次のとおりです。(敬称略)

【第3位】 名和第3分団

【第5位】 中山第3分団

【第6位】 大山第3分団

【優秀番員賞】 橋本 晃 (名和第3分団 3番員)

## 海岸を

## きれいに

大山地区第10回海の日海岸清掃が7月20日、平田、末吉の両海岸で行われ、早朝から地元住民などボランティア350人がペットボトルや発泡スチロールなどのゴミを拾い集めました。

清掃後は両海岸とも大変きれいになり、回収されたゴミの量は可燃物950kg、不燃物820kgになりました。



## 住みよい社会の実現を

社会を明るくする運動 西伯郡研究大会

第59回「社会を明るくする運動」西伯郡研究大会が、7月6日に大山農村環境改善センターで開かれました。社会を明るくする運動は、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない明るい社会を築こうとする全国的な運動で、一人一人が考え、参加するきっかけをつくるための広報活動や行事がおこなわれています。

この日の大会は、社会を明るくする運動大山町推進委員会・西伯保護区保護司会が主催したもので、約160名が参加しました。式典では、推進委員長の森田大山町長などのあいさつや、鳥取保護観察所長から法務大臣メッセージが各町村長、教育長へ伝達されました。

オリエンテーションの後、泉龍寺住職の三島道秀氏の講演や、更生保護女性会による「ひまわりの譜」と「大山賛歌」を会場の皆さんと合唱しました。

また、「若い力の郷土の踊り」として、大山小学校児童による竹太鼓の演奏、大山西小学校児童による創作ダンスに会場から大きな拍手が送られ、犯罪や非行のない社会づくりへの理解を深めました。



子どもの心の問題について講演する日野町泉龍寺の住職三島道秀さん